

平成 24 年 12 月 15 日

北関東フォーラム

於：シムックス

中齋塾 北関東フォーラム 平成 24 年度第 10 回

脱殻

おはようございます。今年度最後のフォーラムです。

代表幹事はいつも素晴らしい挨拶をされます。「人生に四季あり。組織にも四季あり」、これは良い言葉だと思います。来年は、一般財団法人中齋塾フォーラムとして新たにスタートします。

中齋塾フォーラムはどんどん変わります。新理事長さんが書いてくれたご案内状には、「脱皮」とありましたが、私は「脱殻」と致しました。啐啄同機（さいたくどうき）という言葉があります。鶏の雛が卵から産まれ出ようとする時、殻を内側から一か所つつきます。親はそれを感じて、すかさず同じ場所をつつく。同じ時期に、親が外から雛が内側からお互いにつつきあって、卵が割れて雛が誕生する。殻を破るという考え方です。

普通、辞書では「そったくどうき」とありますが、安岡正篤先生は「さいたくどうき」と読みました。「そったく」とはチョンチョンとつつくから、殻がちょっとひび割れて、恐る恐る出て来るイメージです。ですから徐々にしか変われない。一方「さいたく」は、打ち砕くという意味です。中にあるエネルギーを一気に噴出させるから、別の者になって、どーっと飛び出していくイメージです。世の中に出る時には「さいたく」の方がよろしいと感じます。

中齋塾フォーラムも「脱皮」…皮を脱ぐというような変わり方ではないと考えると、「脱殻」の方がよろしいと思っています。世の中の動きに合わせて、身体を変えていく。形を変えていく。海老は殻を脱ぎ続けるからおめでたいのです。殻が脱げなくなった時は死ぬ時です。常に自分自身の殻を破る努力をしていくべきだと思っています。私共もお互いに殻を破っていききたいものです。

もう一つ、代表幹事のお話で「日本人でありながら日本のことをよく知らない。知っていることが少ない」と話をされました。これは当たり前のことです。全部が全部知っているという事はあり得ません。ただ中齋塾フォーラムの中で皆様方をお願いしておきたいことは、知るということ、一つだけ深く井戸を掘っていけばよい。何か一つ、人さまに教えられるものが身に付いていれば、全部繋がります。深い井戸を掘れば、水脈がぶつかった時に、他のものにも広がります。浅い井戸だと、そこで終わってしまう。ですから知るといことは、ただ一つのことを深く掘り下げれば良い。そうすれば他のものの判断につながります。それは今日のテーマ「視・観・察」と相通じます。一つのことを血反吐を吐く

くらい真剣に考えて、悩んで、そしてはっと悟る。これが知るということです。そこまで一つの事を掘り下げれば、他にも十分応用がききます。

恒例の質問

今年一年間を振り返って戴きたいと思います。

- 今年一年、嘘を比較的つかなかった方？
- 今年一年、良い日多かったなと思う方？
- 今年一年、有難うとよく言い続けた、そして有難うとよく言われた方？

新しい方がおられますので、お聞きします。

奥様を褒めますか？

日本人はだいたい奥様を褒めませんね。褒められると悪い気持ちはしませんから、面と向かって褒めた方が良いでしょう。褒めてもらうと血液の循環が良くなるそうです。そして褒められたなら、「どうも有難うございます」と返しましょう。

普段生活していると、叱ることは必要です。ここで覚えていて欲しいのは、怒るのと叱るのとは違います。怒るといのは、自分の感情を相手にぶつけるだけですから、相手を嫌な気分にする。叱るといのはポイントを選んで、この子はこれで伸びると思って叱る。相手が発奮してくれるように、相手が気付くように叱る。

同様に、褒める時にも相手がここを褒めて欲しいというポイントを褒めると、ぐんと伸びます。お互いが一体化できるからです。一方通行で褒めているだけではいけません。

有難うと言われるためには努力も要るし、工夫も要ります。どうぞ来年はたくさん有難うと言い、有難うと言われる1年間になるよう意識的に過ごしてください。

- 今年一年間、何らかの健康法を実践した方？
- 今年一年間、明日のことを過去形でイメージできた方？

ちなみに私は、昨晚眠る時には、＜明日はこういうことをやる。それが全部出来た。良かったな・・・＞と思って眠る自分をしっかりイメージ出来たので、安心して眠りにつきました。寝る時には必ず、明日以降のことをイメージして、それが出来れば良い人生がどんどん開きます。是非どうぞ来年一年間で一度でもよいから、明日のことを過去形でイメージできるようになるとよろしいでしょう。

論語解説

【四】子曰く、考なるかな閔子騫。人 其の父母昆弟の言を聞せず。

孔子が言うには、閔子騫は実に親孝行である。閔子騫が両親や兄弟に孝行者だということを他人が聞いて、誰も異議を唱えない。

周りが認めているという事ですから、非常に素晴らしいと言っています。

なかなか親孝行な人物は最近いませんね。皆さんの周りにはそういう人がいますか？
脱稿したばかりの「陽明学のすすめV 洪澤栄一」の中で、「親が子を殺し、子が親を殺す
ような民族は滅ぶ」と書きました。それについて、木内孝さんが序文で、

○「親が子を殺す・子が親を殺すと云う様な民族は必ず滅びて行く」

・・・天地自然を師とする自分にとっては当然のこと、覚悟を新たにします。

と書いて下さいました。親が子供を殺し、子供が親を殺す、そんな民族が生き残れるわけ
がない。そうならないように我々も努力をすべきだと思います。

【五】南容 白圭を三復す。孔子 其の兄の子を以て之に妻あわす。

白圭は白い玉。詩経の中の句で、「玉のきずは磨けば直るけれども、言葉が欠けたものは
直すことは出来ない。だから人様にかかる言葉は氣をつけた方がよい」と歌っています。
南容は白圭の句を何度も何度も愛唱している。

このような南容の慎み深い態度を素晴らしいと評価して、孔子は自分の兄の娘を南容に
嫁がせた。

良いと思う人物には身内を娶わせたわけです。

**【六】季康子 問う。弟子 孰か学を好むと為すと。孔子 対えて曰く、顔回という者有り、
学を好めり。不幸 短命にして死せり。今や則ち亡しと。**

季康子が孔子に尋ねました。「弟子の中で学問が好きな者はいますか。」

孔子が答えて言うには、「顔回という者がいました。学問を好んだけれども、残念ながら早
死にしまいました。もう学問好きと言える弟子はおりません」と。

**【七】顔淵 死す。顔路 子の車を請いて、以て之が椁を為らんとす。子曰く、才も不才
も亦 各 其の子と言うなり。鯉や死せるとき、棺有りて椁無し。吾 徒行して以て之が椁
を為らざりき。吾れ大夫の後に従うを以て、徒行すべからざればなりと。**

顔淵（顔回）が亡くなった。その父の顔路が孔子に車を下さいと請い、それを売って椁
（大きい外側の棺）を作ろうとしました。

孔子が言うには、才能のある子供も、才能のない子供も自分の子供に変わりがない。私
の子供の鯉が死んだ時には、分に応じて内棺だけで外側の椁は作らなかった。私は大夫の
末席にある立場なので、私が自分の車を売って、歩いて出仕する訳には行かない。

孔子はこの時 70 歳ですから、もう老境に入っている状況です。

論語の読み方は、くれぐれも声に出して読むこと。声に出して読んだなら、その情景がイメージで浮かんでくるのが肝心です。そして孔子の世界をイメージできると同時に、現代の世界・自分自身に置きかえて考える必要がある。自分自身の身のまわりや国家・社会と照らし合わせて論語を見ないと役に立ちません。孔子の時代はこうだった、というだけでは役に立ちません。是非、今の時代に置きかえて考えて戴くようお願い致します。

干支について

私の手帳に平成 21 年 11 月 18 日付けで書いた、干支についてのメモがあります。平成 18 年の丙戌（へいじゅつ）から 29 年丁酉（ていゆう）までの干支について書きました。

日本国内で干支をベースにして、今年はどういう年かという文章を書いているのは 3 人（団体）です。一つは関西師友協会です。例年発表しています。もう一つは、福島新樹会の代表をされておられる渡辺五郎三郎先生が書いています。皆、安岡正篤先生の流れを汲んでいます。そして私が書いております。

私が干支について書いたものを周囲の方々が気にしてくれたのは昨年、平成 23 年の 3.11 の時からです。その年は「今年は辛卯（しんぼう・かのとう）、酷く辛い年で大勢の命が損なわれる年」と年賀状に書いた記憶があります。その 2, 3 年前から、同友会等で「平成 23 年には日本の国のインフラが壊れるような災害が来て、人々が沢山死ぬ」と話をしておりまして、本当に起きてしまいました。ただ、私の考えていた事と違ってことが二つありました。一つは、私は年末に起きると思っていたのですが、早かった。それから死ぬ人の数が少な過ぎたと思っています。大災害が起きた時に日本人は何百万人という単位で死ぬ、少なくとも何十万単位だと思っていたから、勿論亡くなった方には大変気の毒だと思っておりますが、3 万人というのは少な過ぎると思っています。マクロでみると死に方が少ない。

大災害が今年起きないとするならば、来年は危険です。例えば、人間が今迄遭遇したことのない伝染性ウィルスです。政府が発表しているもので、鳥の強毒性の新型インフルエンザが発生した場合、日本人は 30 万人くらい死ぬであろうという数字があります。しかしオーストラリアのロウイー研究所は、日本人は 300 万人くらいは死ぬだろうと公表しています。

それを裏付けるものとして、3.11 の後に、日本の医療関係者・政府関係者・マスコミ等が集まったシンポジウムで、自衛隊医療関係の或るパネラーの方が、「強毒性の新型インフルエンザは日本には来ないと思っています。これが公の見解です」と一旦言葉を切って、「ただし、私の個人的見解としては、数百万人が死ぬと言われておることは存じております」と言っておられました。何のことはない、政府関係者や医療関係者は、日本で強毒性のウィルスが広がり始めたら、数百万人が死ぬという前提で準備をしていると言葉の裏で察して下さいということではないかと感じます。

ですから政府が今公表している 30 万人という数字は少な過ぎます。3.11 の死亡者 3 万人という数字は、近未来への警告が発せられたのだと私は思っています。

今年、平成 24 年壬辰（じんしん・みずのえたつ）は、どうにかリーダーが登場し、政治経済は何とか動き始めるけれどもヘドロの状況を自覚する年である。これは年賀状や季刊誌「知足」に似たようなことが書いてあります。

来年については 1 月発行の「知足」に書きましたので、どうぞお手元に届いたらお読みください。来年は癸巳（きし・みずのとみ）。私の手帳を見ると、将来を見通した新興勢力がどんどん生まれると書いてあります。巳はヘビですから、ヘビが目覚める年。但し、一気には進まないで乱立をしていきます。

再来年（26 年）は甲午（こうご・きのえうま）です。伸び悩む年。甲とは鎧、殻を破って芽を出すけれども、なかなか進まない。午は荒馬、反抗勢力が生まれる。ですから新しく生まれた勢力は、そう簡単にいかないで伸び悩む。

平成 27 年は乙未（いつび・きのとひつじ）です。はじめがついて、新しい勢力がぐんぐん伸びる年です。乙は草木の芽が曲折をし、未は良くないことを思い切って払いのけなければならない年。その結果、新しい勢力が伸びていく。

平成 28 年は丙申（へいしん・ひのえさる）。新しい勢力がどんどん発展成長していく年です。丙は生命力が壮んで成長し、申は色々なものが一気に伸びていく年。ですから、2016 年（平成 28 年）はぐんぐん伸びていきます。

平成 29 年は丁酉（ていゆう・ひのととり）。丁が新旧の勢力が衝突し、酉は新しい勢力が爆発をする。結果として新しい勢力が確立をする。

2 大政党制のようなものはどうにもならなくなりましたが、平成 29 年になって、やっと新しい勢力が確立する。今から 5 年後です。これを長いと思うかどうか・・・。

安岡干支学の場合は、60 年サイクルで見ます。個々のものは見ないけれども、時代の流れを追いかけていくのが 60 年周期です。それとは別に、何度か申し上げている文明法則史学から見ると、今は西洋文明から東洋文明に移行する大転換期にきていますから、色々な国が新しく生まれたり潰れたりするのはごく当たり前です。文明法則史学は 10 年・50 年・100 年というサイクルで見ます。

そう考えると 5 年という期間は、あっという間です。私は来年、「黎明」というテーマで 1 月 19 日の一般財団法人設立記念式典でお話をしようと思っています。5 年くらいを一つの

サイクルと見て、夜明けが近づいた・仄明るくなってきたというところで、新しい時代が開く予感がする年に来年はなる。従って、「黎明」という言い方をしました。

時事評論

今年は、新聞を読む時に3つの視点があると何度も申し上げました。民主党の打つ無様な手・国債の動向・自然災害です。

そして視・観・察でものを見る。視…目の前に出た事柄を表面的に捉える。例えば星野さんが今日はマスクをしておられます。星野さんがマスクをしている・・・それが視です。では、1週間前はどうかだったかな？ 原因は何か？ 今はどうなのか？・・・ずっと観察し続けた結果、状況が分かってくる。ずっと見続けていくのが観です。察は、その結果、心の中まで洞察することが出来る。

1. 民主党の打つ無様な手

民主党が手を打てば打つほど、全部無様な手だから、「無様」と言ったのです。民主党が素晴らしい手を打つという事は起きるはずがない。ですから色眼鏡をかけて見てくださいと申し上げています。色眼鏡とは判断基準です。

2. 国債

日本の国力はどんどん衰退をしていって、途中で反転して戻るけれども、悪くなる一方です。今は世界経済が破たんをするギリギリのところですから、どこが引き金を引くかというのは国債の動向を見ていけば分かります。そういう意味で、国債を気にしてくださいと申し上げています。

日本は赤字国債を発行し続けて、どうにもならないところまで来ています。先日、或る銀行の頭取にお会いして、こういう話を致しました。

国がお金を払わなくなる。当然、県も市町村も各自治体はお金が払えない。国や自治体から仕事を貰っている、例えば建築会社があるとします。お金を貰えないと、下請けにも払わない所が出て来る可能性が増しています。「シムックスは自治体から仕事を貰っているけれども、国がお金を払わなくなった時に銀行さんはお金を貸してくれますか」と聞きました。

しかし何のことはない。自民党が勝ちそうですから、公共事業をどんどん出すでしょうし、赤字国債を発行するでしょう。おまけに野田さんが最後に、また赤字国債を出すと言いましたから、ミニバブルが起きるでしょう。そうすると、吸収合併がどんどん増えてくる。ついては、その時のために資金を貸してくれるようお願いしました。

それから、ご飯が食べられなくなる。食料の輸入が出来なくなります。私は自分に縁のある人1万人が必要な食料を自給自足できるようなことを考えておりますし、更に、群馬県もしくは近隣の町おこし・村おこしも考えています。それについても協力を戴きたいという話をしました。この町おこし・村おこしについては、県の企画部長が担当ということで、

県としての話をお聞きしています。具体的な能登半島の会社の例は、以前申し上げました。ということで、今、私が仕掛けているものについて資金需要のあるもの、同時にその銀行さんともう少し縁を深くしておこうと思ったので、お会いして話を致しました。

新聞・テレビ・ネットを見て、世の中がどんどん変わるなと思ったなら、自分自身でどう対応するか、自分が所属している組織がどう動くか、自分の会社がどう対応するか……。新聞やテレビの情報を自分自身に置きかえて、手を打とうと決めて行動すべきです。分からなければ、分かりそうな人に話を聞けばよい。ただ、自分が判断し自分で決めていかないと、その人と縁が切れた時に困ります。自分で判断し・自分で決めて・自分で行動する、という習慣を、知足をベースにしたものの考え方の中から汲み取って戴きたい。これは陽明学の実践です。新聞やテレビ等を見たら、民主党の打つ無様な手・国債・自然災害を気にしてください。自分自身の判断基準を持つと、これがよく見えてきます。来年はまた違った判断基準を申し上げます。

今朝の上毛新聞に、明日の衆院選の投票率が前回の 69.06%より下がるだろうという予想が出ていました。ちょっと悲しい動きだと感じます。今の時代、一票を投じなければ日本の国は変わりません。ヒットラーがドイツを牛耳った時は、ほんの一握りの人たちの投票によってナチス党がどんどん伸びていく素地を作ってしまったわけです。結果として、あのような歴史になってしまった。ですからやはり投票はすべきです。今の動きを見ていて思うのは、小沢新党・未来の党は予想で 10 人前後と言われていますが、これは仕方がないでしょう。群馬県から 2 人候補者が出ていますが、気の毒としか思えません。小沢さんの場合は選挙に受かる方法を持っている、お金も持っているし、人も送り込むから、神通力があると思われるからそういう動き方になるのかと思いますが、やはり判断基準をそれぞれが持っていなければいけないと思います。私は、今は人で見るとなく、政党で見えていかないと日本の国がちょっと苦しいと思います。ですから政党に力を付けさせないといけないと感じています。

最後に、先日、大野参与が東京フォーラムで話をしてくれましたので、そのお話を紹介します。日本の領土が侵犯されているという話で、大野参与は特殊な情報を持っていますから、こういう言い方をされました。「中国が日本を今、攻撃している。これはアメリカからサインが出ているからです。アメリカが日本並びにその周辺から軍隊を引き揚げて手薄にすると、中国は日本を取り込むだろう。ロシアが日本を取り込むだろう。韓国が日本をくすねるだろう。そうされては困る。だから、日本と中国がトラブルを起こしてくれるように、日本とロシア・日本と韓国が揉めるようにアメリカが種を蒔いている。それぞれの国が日本を攻めても、アメリカはお返しをしてこないとサインを出しているから、確信犯で日本は今、各国から攻められています」という話です。

これは、ペマ・ギャルポさんの話と繋がります。前回お話ししましたが、ペマ・ギャルポさんにお会いした時にこういう話をしてくれました。

チベットが中国に呑み込まれる時と同じコースを辿って、日本は今、呑み込まれつつあります。チベットは中国に呑み込まれて、弾圧され、大勢の人々が殺されてから気が付きました。チベットは中国軍が攻めて来るとは思わなかった。平和・平和と唱えていれば、どこも攻めてこない。尚且つ、チベットは交戦意志を持たない国でした。戦わなかったから、あっという間に侵略されて、中国が拵えてきた一方的な協定を結ばされてしまった。その時のチベットの指導者であるダライラマには絶対に手出しはしない、仏教や教育は手を付けないで尊重するという約束は、中国に呑み込まれた瞬間に全部ひっくり返されてしまいました。ダライラマは国外追放、教育はチベットの母国語を使うことも教えることも禁止されてしまった。更に、今一番危惧しているのは、チベットの娘と中国の若者を一緒にさせ、産まれた子供には中国文化しか教えないという状況が進んでいることです。

日本はチベットと同じ道を歩んでいる。しかもアメリカが容認をしている。マスコミはなぜそういう事を言わないのでしょうか。ですからマスコミが発表する事をよくチェックしていないと、自分自身の判断基準を持っていないと間違えます。

今回の北朝鮮のミサイルの打ち上げも、テレビで「見事騙された日本・韓国のマスコミ」とありました。知っていることを知っていると言ったならば、敵に手の内を見せてしまうことだから、知っている人間は口を閉じて喋りませんよ。日本は垂れ流しの情報を貰っています。大本営発表という感覚でずっと来ていますから、日本のマスコミほど珍しいマスコミはありません。情報を発信する側から情報だけ貰って、それを垂れ流ししているようなマスコミですから、よほど注意してチェックしていないと、どんどん洗脳されます。氣を付けた方がよいでしょう。

来年はそういう見方で時事評論をさせて戴こうと思います。